

鳥取砂のルネッサンス

活動を通して目指すのは
「砂による感動体験の提供」、
「自然体験型観光コンテンツの創出」

砂という自然 × アクティビティ × 異文化体験 × 創造的あそび教育
という鳥取ならではの観光資源化

VISION ビジョン | 実現したいこと

「砂」が市民の生活や心を豊かにし、
「砂」が市民の誇りとなり、
ふるさとを自慢できる鳥取市民が増加すること

MISSION ミッション | (社会における使命)活動目的

こどもの未来を思う大人に
肯定的な観念を持って挑戦・成長できる機会を提供する事で、
どんなことにもチャレンジできる子供の成長に寄与する



報告書

2025

鳥取砂のルネッサンス

<https://www.suna-r.com/>



砂のルネッサンス 2025年の 活動を終えて



砂のルネッサンス
実行委員会委員長
遠藤 理恵



感動体験こそが「まち」や「人」や「文化」を創る

鳥取砂のルネッサンス2025の全日程を終え、活動報告書を皆さまにお届けできることを、大きな喜びと感じております。本年度の開催にあたり、多大なるご支援とご協力をいただいた皆さまに、心より厚く御礼申し上げます。今年度、私たちが最も確かな手応えを感じたのは、砂を通じた「感動体験」の広がりです。「すなばようちえん」を活用する園は年々増加し、「あそびのすなば」への来場者も着実に増えています。さらに今年は東京での砂像体験を実施し、鳥取の古砂丘が持つ「砂」の面白さ、そして無から形を創り出す造形の楽しさを、県外の方々にも肌で感じていただくことができました。

鳥取には、世界に誇れる「砂」という資源があります。私たちは、この砂こそが市民の誇りとなり、このまちと人を育てる強力な「武器」になると確信しています。

「たかが砂遊び、されど砂遊び」情報過多で、どこかに正解があるかのように錯覚し、自ら答えを導き出す力が弱まっている現代。砂遊びこそが最も必要なのです。思う存分、自分らしく表現できる砂場は、こどもたちにとって大事な学びの場です。何もないところから工夫して創

り出す力、仲間と力を合わせて一つのものを作り上げる喜び、そして何度崩れても立ち上がる粘り強さ。こうした経験を通じて、自分を信じ、仲間と共にこれからの時代を切り拓き、力強く生き抜いていく子どもたちをこの鳥取の「砂」や「大人」たちと育てたい。それが私たちの想いです。そして何より大切なのは、まず私たち大人が全力で楽しんだり挑戦している姿を見せることです。大人が砂にまみれ、夢中になって試行錯誤しながら挑戦する姿は、子どもたちに「失敗を恐れず、何度でもやり直して(挑んで)いいんだ!」という泥臭くも力強い勇気を与えます。その背中から伝わる熱量は、子どもたちの力となり、これからの予測困難な時代を自らの意志で切り拓き、やり遂げる力を育みます。砂という無限の可能性を秘めた素材を通じて、次世代の心を育てていくこと。それこそが、今を生きる私たちの使命であり、一番大きな「まちづくり」であると信じています。鳥取の砂が、子どもたちの未来を照らす光となるよう、今後もこの歩みを止めることなく邁進してまいります。引き続きのご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

鳥取 砂のルネッサンス 実行委員会メンバー



委員長 遠藤 理恵
【MOTHER's WEDDING.】



副委員長 花井 健太
【花輪窯】



副委員長 諸吉 稔
【株式会社TSP】



副委員長 山根 光彦
【(有)アドセンターバル】



事務局長 尾前 康寛
【(株)日本海プラザ】



監事 田淵 裕章
【(株)田淵金物】



石上 直樹
【(株)プロシード】



大森 慎吾
【(株)プロシード】



尾坂 亮
【株式会社Re:MEMBER など】



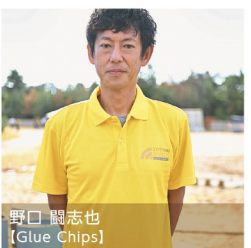
坂本 祐希
【大学生】



中井 みずほ
【Tottori Mama's】



西山 雄一郎
【(有)西山家具】



野口 隼志也
【Glue Chips】



岸本 雄司
【(一社)すなばスポーツ】



野村 亮介
【(株)ノーマックヨフト】



福島 葉子
【hair/nico】



すなださん

オブザーバー/
鳥取市役所観光・ジオパーク推進課
松尾真司/下澤武志 【砂の美術館】

後援/鳥取市

協力/鳥取砂丘ビジターセンター・
浜坂財産管理委員会・
鳥取大学ポレポレキッズ



HISTORY

これまでの歩み



●中学生砂像選手権 ●砂のワークショップ ●鳥取砂丘ピクニック ●砂丘しゃんしゃんフェスタ



●砂遊びの魅力発信 ●インスタグラム ●小さな砂像選手権

第二回鳥取砂まつり開催

- シンボル砂像&砂絵 制作/展示
- あそびのすなば ●ホワイトサンド

砂あそび共育支援

- すなばようちえん
- 保育者対象砂場保育研修会 ●砂の先生育成事業(中止)



第四回鳥取砂まつり開催

- 砂のテーマパークを創る
イベント開催/パママ集まれ!
- ミニ砂像体験
- あそびのすなば
・ごっこあそび ・すなばスポーツ
・砂と水あそび ・ワークショップ

あそびのすなば単独イベント開催

- すなばようちえん
- 先生向け出張砂の造形講座



鳥取砂のルネッサンス 2018開催

- シンボル砂像制作
- 学生限定
砂像グランプリin鳥取

イベント中止 コロナ復興砂像制作/展示 あそびのすなば2020

- 砂遊びの魅力発信
- インスタグラム
小さな砂像選手権

未来のイメージビジョン制作

第一回鳥取砂まつり イベント中止

- シンボル砂像制作/展示
- 砂像型枠商品開発
砂あそび共育支援

- すなばようちえん
- 砂絵制作・展示
- 保育者対象砂場保育研修会
- 砂場環境整備
- 砂の先生育成事業

第三回鳥取砂まつり開催

- シンボル砂像制作/展示
- ミニ砂像製作体験
- あそびのすなば
・ビーチテニス ・フットゴルフ
・ドローン体験 ・砂絵体験

砂あそび共育支援

- すなばようちえん
- 鳥取市 幼児保育課
職員自然研修(鳥取市共催)

第五回鳥取砂まつり開催

- あそびのすなば
・砂と水あそび・ままごと・ビーチテニス
・ワークショップ・砂のアスレチック

砂あそび共育支援

- すなばようちえん
- 先生向け出張砂の造形講座 ・プレイリーダー育成

あそびのすなば単独イベント開催

高校への砂像出張講座

砂を活用したイノベーション事業

外部企業/団体との連携事業

- 鳥取砂丘シンボル砂像制作/砂丘ビーチ砂もり大会協力
- 「ANAに乗って鳥取県で叶えたい夢」企画協力

実行委員会発足 鳥取砂のルネッサンス2017開催

- シンボル砂像制作
- 砂像選手権
- 砂のワークショップ



鳥取砂のルネッサンス2019開催

- シンボル砂像制作
- 学生限定砂像グランプリin鳥取
- あそびのすなば
(ポーネルド社とのコラボレーション)
- 光る泥だんごづくり
- フードブース

幼児教育セミナー/すなばようちえん開催



第一回鳥取砂まつり イベント中止

シンボル砂像制作/展示

砂像型枠商品開発

砂あそび共育支援

- すなばようちえん
- 砂絵制作・展示
- 保育者対象砂場保育研修会
- 砂場環境整備
- 砂の先生育成事業



第三回鳥取砂まつり開催

シンボル砂像制作/展示

ミニ砂像製作体験

あそびのすなば

ビーチテニス

フットゴルフ

ドローン体験

砂絵体験

砂あそび共育支援

すなばようちえん

鳥取市 幼児保育課

職員自然研修(鳥取市共催)



砂場と子どもについて30年以上研究(砂場)と子どもなど著書も多数。

監修



同志社女子大学
現代社会学部
現代こども学科
特任教授
笠間 浩幸氏



2025年10月4日(土)5日(日) 10:00~15:00 (休憩時間12:00~13:00)

会場：鳥取砂丘フィールドハウス前広場

料金：1家族/1,000円

物品協賛：イサナドットネット株式会社様よりタオルのプレゼント
鳥取ヤクルト販売株式会社様よりヤクルトのプレゼント

来場人数

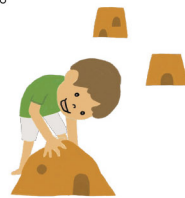
10/4 43組143人
10/5 112組354人



遊びながら学べる
あそびのすなば

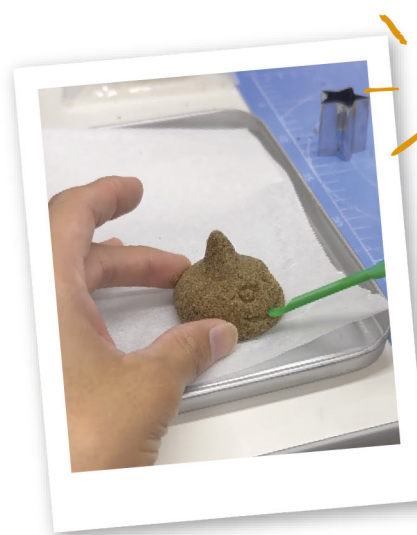
約20m×20mたくさんの遊び道具とあそびのスペシャリスト「プレイリーダー」との遊びを提供。あそび方によってエリアを5つに分けて実施。

- ①砂と水のエリア
- ②ままごとエリア
- ③ビーチテニスエリア
- ④ワークショップエリア
- ⑤砂のアスレチックエリア



特別企画としてヤクルト販売様の協力で、子どもに人気の「うんち」をテーマに、クイズや砂のうんちづくりを通して、砂の特性を楽しく学ぶプログラムを用意。

■宣伝告知：
市内幼稚園/保育園へのフライヤー配布
Instagram広告



WORKSHOP!



sand ball //



下準備が大切だね!



所見
活動のテーマを「あそびながら学ぶ」というものにフォーカス。ヤクルト販売様の協力でこどもたちの好奇心をくすぐるプログラムや、また参加者からの要望も多かったことでしかできないダイナミックな遊びを提供できるようにコンテンツやエリアを計画した。全身を使って砂であそびながら様々なことが自然に学べ、力がついてくる。そんな砂の隠れたチカラを保護者の方と共に楽しく感じていただいた。
保護者の方も、子どもたちと一緒にあそびたり創作したりする姿が見られ、砂ねんどのワークショップなども好評を博した。
今回も皆で砂まみれになりながら、ここでしかできない特別な感動体験を提供できたと感じられる。
鳥取に住む親子の特権である砂丘での砂あそび。これからも、新しい砂の楽しみ方や、もっと楽しく遊べるコンテンツの拡充を図って市民と砂丘を近づけていきたい。



2025年9月14日(日) 10:00~15:00 (休憩時間12:00~13:00)

悪天候の為中止

会場：鳥取砂丘フィールドハウス前広場

2025年5月31日(土) 6月1日(日) 10:00~15:00(休憩時間12:00~13:00)

鳥取砂丘ウエストゲートフェスティバル
(主催：山陰海岸国立公園鳥取砂丘ビジターセンター)での開催

会場：鳥取砂丘フィールドハウス前広場
料 金：1家族500円先着50組
協 力：鳥取砂丘ビジターセンター
物品協賛：イサナドットネット株式会社よりタオル

■あそびのすなば

約20m×20mたくさんの遊び道具、あそびのスペシャリスト「プレイリーダー」との遊びを提供。来場者の年齢にあわせ、おままごとや水あそび、塔づくりや綱引きなどの遊び方を実施。

■宣伝告知

鳥取砂丘ウエストゲートフェスティバルのフライヤー配布/Instagramでの投稿

来場人数

5/31AM 15組58人 6/1AM 20組70人
5/31PM 6組31人 6/1PM 18組60人

合計 59組219人

【鳥取ウエストゲートフェスティバル】
スタンプラリー 4個で抽選参加:41名
こどもの国「マルコラ」
参加者数:5/31(土)3,170名、
6/1(日)4,662名
ヤマタ鳥取砂丘ステーション
参加者数:70名



【青谷高校】

2025年5月7日(水)~6月11日(水) 水曜の3限/4限(1限40分)で制作

7月3日(木)学園祭で展示発表

会 場：青谷高等学校コモンホール

概 要：「地域環境芸術」選択者(3年次)7名の生徒を対象に、「青谷」をテーマに各自デザインを考え、1人1体の砂像作品を制作。サイズは90リットルゴミ箱をベース枠に。

- 1回目 砂像説明、制作注意点説明、砂像ベース枠への砂入れ
- 2回目 型枠外し、デザインチェック、下描き、彫り出し
- 3回目…制作
- 4回目…制作、仕上げ

取材：日本海新聞/BSS/NHK鳥取



【岩美高校】

2025年7月14日(月)~10月8日(水) 月曜/水曜の2限/3限(1限50分)で制作

10月15日(水)学園祭で展示発表

会 場：岩美高等学校体育館前スペース

概 要：1年生20名の生徒を対象に、美術の授業で実施。1クラス毎3チームの計6チームに分かれ各チームそれぞれ自由にデザインを考え、砂像作品を制作。サイズは90リットルゴミ箱をベース枠に。

- 1回目 砂像説明、制作注意点デザイン出しからの各チーム相談
- 2回目 制作場所への砂運び
- 3回目 砂像ベース枠への砂入れデザイン完成へ向けての話し合い。
- 4回目 ベース枠を外し、下描き
- 5回目~9回目 制作
- 10,11回目 仕上げ

取材：日本海新聞



岩美高校では、本当に自分達で砂像が作れるのか不安に思っていた生徒達も、実際に砂を運ぶ所から始まり、土台に砂を詰める事で直に砂に触れ、その独特な感触を楽しんでいる生徒達の表情が印象的だった。実際の砂像制作は、昨年よりも講師陣のサポートを多めにした事で、最初の形決めがスムーズに進み完成度の高い作品に仕上がった。チーム毎に声を掛け合い制作していたので、活気ある美術の授業を展開する事が出来た。制作後のアンケートでは、砂像制作が楽しかった、今後砂像制作をする様なイベントがあれば参加してみたいという意見もあった。来年度は、イベントでボランティアスタッフを募集してこの砂像制作の授業をきっかけに学校以外でも砂に触れたいと思える生徒が増えていき、今後授業で砂を扱う学校が増えていく事を期待したい。

所見

青谷高校では、鳥取市の観光・文化として根付く「砂像」を土台作りから自身で体験することで、「砂像」への理解が深まり、より身近な存在になったのではないかと感じる。また、「青谷」をテーマにした事で各自治元の特徴を考えるきっかけにもなった。最初は砂に触れる事すら嫌がっていた生徒達が最後は汚れる事を気にせず完成に向けて制作していたのが印象的だった。これも砂の持つ魅力なのだと再認識した。

所見

鳥取砂丘西側エリア全体の盛り上げを図る、鳥取砂丘ビジターセンター主催の「鳥取砂丘ウエストゲートフェスティバル」に、あそびのすなばを協力開催。ウエストゲートフェスティバルのスタンプリーのひとつのスポットともなり、あそびのすなばからスタンプラリーをはじめめる方もみられ、イベント全体の周遊フィールドハウスへの誘客にも貢献することができた。昨年の反省で来場者が多すぎると、遊べる範囲が狭くなり思い切り

遊べなくなり参加満足度が下がる可能性があることが見受けられたため、来場者数を事前予約制、限定50組に制限予約はすぐに埋まったが天候の問題もあり当日は予約者全員来場は叶わずであったが、皆が広く遊べたので満足度は高かった。9月に開催を予定していたあそびのすなばは天候不良で中止に。天気に左右される部分は仕方ない部分もあるが対策ができるかどうか今後も検討材料とした。



2025年5月29日(木)~11月17日(月) 10:00~11:30

会場：鳥取砂丘フィールドハウス前広場

計19園565名 園児先生含む626名参加

園庭の砂場の狭小化やマンネリ化という課題を解決し、鳥取の地域資源である砂丘を「最高の学び場」として活用することで、保育の質の向上と地域教育の活性化を図る。

- 保育の活性化：保育者が主体的に砂丘を活用し、園内では不可能なダイナミックな保育を実践する。
- 生き抜く力の育成：正解のない砂丘での活動を通じ、創造性や粘り強さといった「非認知能力」を養う。
- 郷土愛の醸成：大人が活動に「肯定的に伴走」、子どもと同じ目線で驚きや喜びを分かち合う。この「世代を超えた感動体験や共感」が、将来の鳥取を担う力を育む。

AM10:00
はじまりの挨拶
道具や遊び方の説明



AM11:20
振り返り



AM 10:10~11:20
みんなで砂遊び

AM11:30
おわりの挨拶・
片付け~出発



所見
園内では困難な「身長を超えるお城づくり」から、道や建物がある「まちづくり」へと発展していく姿が見えた。この過程で子どもたちは自ら役割を分担し、共通の目標に向かって協力する姿を見せ、広大な砂丘という環境が、園内では引き出しきれなかった「主体性」と「社会性」を大きく育んでいったと感じる。今後は園が主体的に砂丘を活用する「自走型の砂場保育体制」の確立を目指していき、保育者が砂丘での遊び方を習得することで、日常の保育の質が向上し、子どもたちの可能性を最大限に引き出す継続的な環境を構築していくことができればと考える。地域の大人が共に楽しみ、見守る環境の中で子どもたちが郷土への誇りを持ち、変化の激しい時代をたくましく生き抜く基盤を築いていきたい。

参加園

- ◎鳥取あすなるこども園
- ◎森のようちえんまるたんぼう
- ◎認定こども園鳥取第一幼稚園
- ◎認定こども園鳥取第二幼稚園
- ◎認定こども園鳥取第三幼稚園
- ◎認定こども園鳥取第四幼稚園
- ◎認定こども園鳥取第五幼稚園
- ◎あすなる久松こども園 ◎白ゆり保育園
- ◎豊美保育園 ◎湖南保育園
- ◎ひかり保育園 ◎みたから保育園
- ◎認定こども園ひかりこども園
- ◎認定こども園稲葉幼稚園・稲葉保育園
- ◎大正こども園 ◎千代水クローバー保育園
- ◎のぞみ保育園 ◎森のようちえん風りんりん

鳥取第三幼稚園 小谷園長

砂レネの方が園児が来るまでにつくってくださった砂像に刺激を受けた子どもたちは、広大な砂場(砂丘)でダイナミックに遊びを展開しました。指先の巧緻性や全身の動き、創造的表現だけでなく、失敗を恐れず試行錯誤する力や、友達と目的を共有する社会性が育まれる様子を目の当たりにし、砂場遊びの教育的価値を再認識いたしました。この経験は園内の遊びにも波及し、環境構成を見直す良き契機となりました。鳥取砂丘という本物の資源に触れることは「鳥取は素敵なところ」という郷土愛を育む「ふるさとキャリア教育」の原点です。大人も共に楽しみ、地域の魅力を共有することが、子どもたちの豊かな笑顔と健やかな成長(生きる力)に繋がると確信しております。

認定こども園ひかりこども園 保育者より

- ・階段の作り方など園庭の砂場でもチャレンジしていた
- ・雨どいを活用して水を流し工夫して遊ぶようになった
- ・バケツの使い方が分かり何度も楽しんでいる
- ・みんなで協力して大きな山を作るようになった
- ・新しい技法が知れて保育に活かせると思った



子どもたちより

- ・砂や泥まみれになって楽しかった、またやりたい!
- ・中にも入れるようなでっかい王国が作りたい!
- ・きれいなおうちが作りたい!



2025年 5月18日(日) 10:00~12:00

ポレポレキッズ研修

6月8日(日) 14:00~16:00

講師：諸吉

7月21日(日) 6:00~8:00

「砂場から鳥取の未来を創る人を育てる」

10月5日(日) 8:00~9:00

本事業は、実行委員会の手を離れた後も、地域の大人が主体となって子どもの育ちを支え続ける体制を構築することを目的とする。砂遊びを通じて大人が子どもの試行錯誤に寄り添い、共に喜びを分かち合う。その温かい関わりが、子どもたちの「挑戦する力」「郷土愛」を育み、将来、鳥取の未来を自らの手で切り拓く力へと繋がる。その循環を地域で持続させるために、大人が子どもの育ちを深く理解し、伴走できる「プレイリーダー」を育成する。



【プレイリーダーからのコメント】

イベントを通じ、砂の持つ無限の可能性を実感しました。当初はハードルが高いと感じていた砂像作りも、大人から子どもまでが夢中で取り組む姿や、簡単に制作できるコツを学んだことで、一気に身近なものへと変わりました。自由度の高い遊びだからこそ、リーダーには参加者の意欲を引き出すスキルが求められると痛感しました。何より、鳥取の地で地域の人々がこれほど熱狂し、挑戦する姿に、野外体験活動を広める一人として大きな活力をもらいました。

砂遊びが好きで挑戦したプレイリーダー。受付や砂遊びのレクチャーを立派にこなし、周囲と交流する息子の頼もしい姿に成長を感じました。ビーチテニスにも熱中し、多様な人と関わりながら成長する姿が母として嬉しいです。これからも元気に、いろいろなことに挑戦して行ってほしいと思います



Good!
プレイリーダーとして初参加し、砂の持つ無限の可能性を実感しました。塔作りでの試行錯誤を通じ、成功も失敗も分かち合い、一体となって盛り上がった時間は非常に有意義でした。砂には多様な表現を可能にする力と、人の心を繋ぐ力があります。この貴重な資源の価値を再認識し、県民として心から誇りに思います。

Good!



【実施の目的】

「砂場」から鳥取の未来を創る 砂遊びが子どもたちの「生きる力」を育む。園主体で砂場保育を活性化させる「自走型保育」の第一歩として実施。保育者が道具の使い方や遊びの幅を広げる技術を習得し、日常の保育の質を高めることで、子どもたちの可能性を引き出す基盤をつくる。



【研修内容】

「高さ」を出す遊びのコツ：地面の上で遊ぶだけでなく、砂を高く積み上げて「お城」や「山」を作る具体的な方法を実習。遊びの広げ方：高く作ったお城を起点に、そこから道を作って「まち」へ繋げるなど、遊びを「横」にも「上」にも広げていく関わり方を学んだ。



【砂のルネッサンス砂像ワークショップin東京】

2025年11月8日(土)9日(日)

会場：HOME/WORK VILLAGE(東京都世田谷区池尻)
主催：鳥取砂のルネッサンス実行委員会
協力：(株)散歩社・(株)HIROBA・(一社)鳥取県地域教育推進局

2日間で
計25組参加

TOKYO



会場となるのは都心の第一線で活躍するクリエイティブ人材が集うコミュニティ施設。砂を用いた新たな発見や知見を獲得し、現在のおそびのすなばや砂像に続く新たな感動体験コンテンツのアイデアの共創・創出の足がかり、表現アイデアの収集を目的に砂像ワークショップを開催した。



「砂像づくりワークショップ
～鳥取砂丘の砂がやってくる～」の開催

約40cm角の砂の塊から作りたての形を立体で掘り出してもらった。

一般向け



誰でも砂に触れる
小さな砂場スペースも設置。



所見

予約を開始して早々に予約が埋まり、鳥取砂丘の砂が東京に来るといふ非日常感が都市部の方にとっては魅力的に映ることがわかった。特に都市部は現在砂場自体が減少しているためか、砂に触れる機会への反応が鳥取で実施した時と比較しても良かったように思う。砂像体験に対する反応も予想以上に良く「作ってみたら良かったので参加してみたかった」という多くの声があった。

砂を用いて自由に制作してもらい、
表現アイデアの収集を実施

4名のアーティストに約6m四方の砂場を与え、各自自由に制作、表現を行ってもらった。

アーティスト向け



まず砂の特性を理解しようと努めていただいた。我々も気が付かなかったような柔軟な発想や細かな気づきを挙げていただけた。今後の砂を用いた活動の幅が広がるヒントを得られた。

アーティストからの意見

- 他の造形素材に比べると比較的楽に大きさを扱えることの可能性。
- 造形の派手さに欠けるのは鑑賞体験としての制約が。
- 砂に触れながらカタチをつくるのは心地よい頭の体操になった。もっと触ってみたい。
- 脆さなど制約だらけの中で何をつくるか、という事が途轍もなく重要な気がする。
- 砂の粒が集まって塊になって粒に戻っていくさまを体験できるのも楽しそう。
- 刹那と繊細さ。
- 2時間位の砂弄りより、1週間くらい砂遊びをして砂の特性を知らないとアイデアは生まれなそう。例えば大量に雨が降った時の砂丘をみたり、強風が砂丘にどの様な模様を描くか、踏みしめた時にどんな音がするのか、まだまだ知らない事が多すぎる。まずは砂を知る研究会が必要だと思う。
- 粒が塊になって消えていって、単純さは人間の営みのようだし、止まり続けることができない瞬間性もまた、膠着することを理路整然と否定する姿勢になって分かりやすい。
- 作るだけでなく、鑑賞と対話を混ぜながらの体験としても。

所見

県外の都市部で実施したことは大きな刺激であり、「砂を用いた感動体験のアイデアを共創するための着眼点を複数数得ることができた。自由に砂像をつくってもらう」とはそれぞれが思い通りに「自分をアウトプットすることであり、アーティストはそこに「砂だからこそ」という素材の特性、その他様々なことを踏まえていく。そして何より、大人も子どもも夢中に何かを表現していく。遊びながら学べる、自分を表現する「チカラ」。そこに、砂という素材の特性に向き合った表現、創作などが子どもだけでなく大人に対しても新しい感動体験にもなり得るだろうと感じることができた。砂にしかできない、立体として容易に大きいサイズがつくれたりする自由さに対して、脆さという瞬間性や制約を表現に入れ込む。これら踏まえた、大人でも子どもでも誰でもできる、フリーハンドでのライブ感溢れる創作活動や、自分の言葉で話す対話行為もあわせて観賞体験、砂の創作による心地よい頭の体操体験など、砂像のようにこれまでなかった砂の新しい価値、感動体験が生み出せるイノベーションへの期待を感じた。

【鳥取砂丘シンボル砂像制作&砂丘ビーチ砂盛大会】

砂像制作:2025年8月6日(水)7日(木)

対象：福部未来学園生徒砂盛大会:8月11日(日)
主催：鳥取砂丘プロジェクト
協力：鳥取砂のルネッサンス実行委員会・砂の美術館・鳥取砂丘ビジターセンター



37年前からあるイベント。地元小・中学生が砂像制作を通じて砂丘に関心を持ち、鳥取への愛着や誇りの醸成、地元定着につなげたいという主催者の想いに応え、砂のルネッサンスでは、砂像制作の部分を砂の美術館と一緒にサポート。関心の高い地元中学校の未来学園にシンボル砂像を制作してもらった。

【羽田からANAに乗って鳥取県で叶えたい夢】

2025年12月19日(金)

会場：鳥取砂丘フィールドハウス前広場



ANA×鳥取県が企画する鳥取砂丘コナン空港愛称化10周年キャンペーン。「鳥取砂丘で砂の王国のプリンセスになりたい」というキャンペーン当選者家族の夢に、お城づくりなどで協力。



釧路市子ども遊学館開館20周年イベント視察
NPO法人子ども遊学館市民ステージ主催
「『砂場』ワークショップ&講演会砂場で育つ
子どもの姿と遊びのちから」

2025年8月1日(金)2日(土) 16:00~18:30

会場：釧路市子ども遊学館

2026年に沖縄で開かれる
ワークショップも視察予定



笠間先生が講師を務める
ワークショップと
講演会に参加。



笠間先生からのコメント

2025年に20周年を迎えた釧路市子ども遊学館は、135㎡もの巨大な屋内砂場を有し、全天候型の遊び場や子育て支援の拠点として機能しています。遊びのデジタル化が進む今、五感を通して砂に触れるという原初的な体験ができる場として、その価値は益々高まっています。

所見

鳥取には、皆が感動する「砂」があり、一度触れた人はいつのまにか虜になつてしまつて……鳥取の砂は、それほどまでに豊かな感動体験を生み出す。この研修を通して私たちは、この感動を活かし、今こそ「おそび」の大切さと子どもへの育ちを再考すべきだと考える。猛暑や雨の日も厭わず、五感で夢中になれる屋内砂場をこの地に実現したい。砂の力で子どもたちの未来を育み、まちや人を元気に。そんな未来を、鳥取の砂で地域の人たちとつくりたい。